

# ななかまど

令和7年11月1日(土)  
第88号  
一般社団法人  
猿 払  
ななかまどの会  
会 報

## 特集

# 「いじめ」について考える2

先月に続き「いじめ」の特集です。前回  
は「いじめの定義」と「被害者がいじめら  
れていると感じたらいじめ」、「いじめ  
る方が絶対に悪い」という私見をお話し  
しました。  
今月号は「なぜいじめするのか」につい  
て考えたい。

社会には「セクハラ」「パワハラ」「モ  
ラハラ」「カスハラ」などハラスメントが  
ついた言葉が溢れています。全て人権  
問題でいじめの延長線にあると考えま  
す。ハラスメントは対人関係の中で生ま  
れますから現代人はコミュニケーション  
能力が乏しいということができません。「相  
手と折り合いをつける」事を成長過程で  
学んでこなかったのではないでしょう。か  
相手と折り合いをつけることより、自  
分の欲求を満たしたり、実現させる方を  
優先してきた結果ではないでしょうか。

### 人間は「煩惱」に支配されている

仏教では、人間の心を悩ませ苦しませ  
る原因となる物を「煩惱」と呼んでいま  
す。除夜の鐘の108つが煩惱の数とい

われていますが中でも三大  
煩惱があります。最大のも  
のは「欲」です。二つ目に  
「怒り」三つ目に「嫉み、  
そねみ」です。

### 「欲」は恐ろしい

パチンコ屋で大もうけし  
たら「もっと勝ちたい」と  
大金をつぎ込み結局負けた  
という話をよく聞きます。  
また、おいしい物をお腹を  
壊すまで食べる続けるとい  
う話も聞きます。

かつての猿払村でも「た  
くさんもうけたい」とホタ  
テ貝を「取り尽くして」し  
まった時期もありました。

「欲」はなくすることはで  
きません。が、成長過程で  
コントロールができるよう  
に訓練することがあります。  
子ども期に「アレ買って  
ほしい」と頼まれても我慢  
させるとか、目標を持たせ  
るとか、心の中で「割り切  
らせる」訓練をさせる事が  
できます。お金があるから  
といって何でも買って与え  
るのでは「欲」のコントロ  
ールができなくなります。

「欲」が満たされな  
いと「怒り」が溢れ  
る

子ども達には満たされな  
い「欲」がたくさんありま  
す。成績が上がらない、友  
達関係が旨いかなない、親  
との関係が旨いかなない、  
教師との関係が悪い、授業  
がわからない、等々。  
それが解消されないと  
「怒り」になり、ストレス  
になり、その矛先が自分よ  
り「弱い」者へと向けられ  
る事が「いじめ」です。  
しばしば、特別支援学級  
の子ども達が対象になりま  
す。

### 共感的に認め合う

今の子ども達の不満は何  
なのか。日々のふれあいの  
中で感じ取り解決しなけれ  
ば「いじめ」はなくなりま  
せん。一教師に任せるので  
はなく、全教職員で、一方  
で保護者の協力も得て「子  
どもの欲求」と折り合いを  
つける指導が重要になりま  
す。幼児のうちからです。

# パン作り講座10/7



教育委員会主催の「パン作り講座」が開催されました。今回は7名の参加がありました。昨年と違うところは、食パンを一人一斤焼いたところと自分の希望するパンを作ったところです。パン焼きが初めての方はいらっしゃるなかつたようですが、バターロールの「巻き」が難しかったようです。来年も趣向を変えて開催したいですね。



経年劣化で崩れ落ちそうになっていた「楽遊館」の玄関囲いがついに改修されました。明るい色に柱が変わりました。ただ風が強くと雨や雪が吹きさらし、ずぶ濡れになるのは変わりませぬが、とりあえず頭上から雪が落ちにくることは無くなりまし



ました。明るい色に柱が変わりました。ただ風が強くと雨や雪が吹きさらし、ずぶ濡れになるのは変わりませぬが、とりあえず頭上から雪が落ちにくることは無くなりまし



枝幸町で行われていた「北のポーダレスアート出版記念展覧会」を観てきました。様々な障がいを持っていらっしゃる作家の作品を目の当たりにし、心を揺さぶられました。自分の思いをありのままに作品にぶつけるその実直さに迫力を感じました。芸術の世界は障がい者も健全者もありません。表現には境界がありません。立場の弱い者を下に見ることもありません。対等です。

## さるふつ公園売店 「ななかまど」

5月3日より始まった今期の売店は、10月26日(日)をもって終了させて頂きました。

延べで33回の開店日でしたが、約3000名の来店者がありました。パンが売り切れて閉店したことも、また、村内のイベントを優先して休業した時も数多くありました。

村民の皆様の協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

来年の営業は今のところ5月2日(土)からの予定です。

「ななかまど」の十一月のパンの販売は、十一月八日、九日の「文化祭作品展」(農環センター)で販売する予定です。